

下水道特集号

暮らしを守る下水道



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

普段はあまり意識することのない下水道ですが、目に見えないところで私たちの生活を支えています。市民の暮らしや自然環境を守るために大切な役割を担っている本市の下水道事業の取り組みを紹介します。

Q 下水道には、どんな役割があるの？

A 衛生的で快適な市民生活を守り、川や海の水質を保全しています。また、大雨などの浸水被害からまちを守っています。

下水道には、家庭や事業所から排出される使用後の水(汚水)をきれいにしてから川に戻す「汚水処理」と、雨水を速やかに排水して浸水からまちを守る「雨水処理」の役割があります。



下水道の働きでまちや川がきれいになります。



雨水を速やかに川に流すことで、浸水からまちを守ります。

進めています！浸水対策

近年は局所的・集中的な大雨(ゲリラ豪雨)による被害が全国の都市部を中心に多発しています。本市でも昨年7月の大雨の際に、汚水処理施設である鶴巻中継ポンプ場に大量の雨水が流入し大きな被害を受けました。市

では被災後ただちに有識者による調査委員会を設置し、原因の究明や再発防止策の立案に取り組みました。今後は委員会からの提言を参考にしながら浸水対策に一層努めてまいります。



※写真は鶴巻地区の浸水対策として整備した大根川ポンプ場(平成24年11月しゅん工)

公共下水道へ接続を

下水道が整備されて公共下水道が利用できる区域は、下水道法により接続が義務付けられます。浄化槽を使用されているご家庭は速やかに、くみ取り式トイレのご家庭は3年以内に公共下水道に接続してください。

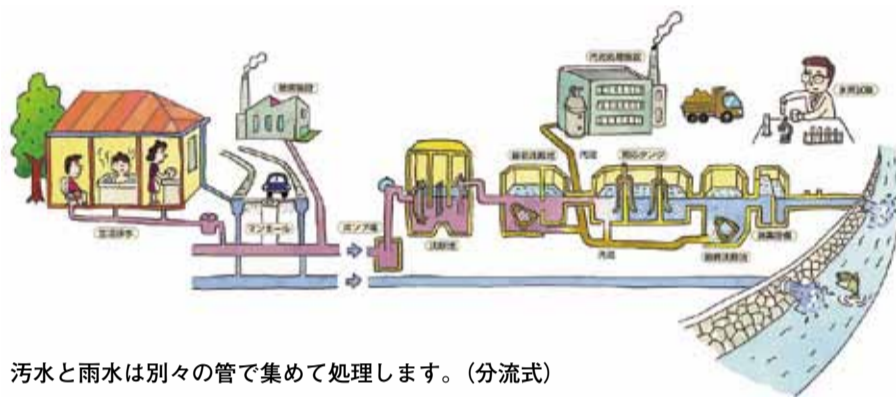
接続工事は市下水道指定工事店に依頼してください。
(※指定工事店は市下水道部のホームページに掲載しています。)



Q 汚水と雨水はどのように処理されるの？

A 汚水は汚水管で終末処理場に集めてきれいにしてから川に流しています。雨水は雨水管で集めてそのまま川に流しています。

汚水は汚水管で終末処理場に集めて不純物を取り除き、消毒や滅菌してきれいにしてから川に流しています。雨水は専用の雨水管で集めて、そのまま川に流しています。このように別々の管で集めて処理する方式を「分流式(ぶんりゅうしき)」と言います。秦野市は「分流式」により整備を進めています。



汚水と雨水は別々の管で集めて処理します。(分流式)

【下水道豆知識】下水処理の方法は？

下水処理の方法には2種類あります。分流式に対してもうひとつの方法は「合流式(ごうりゅうしき)」と呼ばれ、汚水と雨水を同じ管で集めて終末処理場で処理してから川などに流しています。早くから下水道整備を始めたまち(主に大都市)では合流式が多く、1970年代以降に整備を始めたまちでは分流式が多くなっています。

注意！ 汚水ますのふたは開けないで

汚水管に雨水が流れ込むと下水道施設の処理能力を超えてしまい、本来の目的である水質浄化ができなくなるばかりか、ポンプなどの施設が故障して汚れた水がまちや川にあふれてしまうなど、市民生活や自然環境に大きな影響を及ぼします。雨天時など汚水ますのふたは絶対に開けないでください。

※汚水管に雨水を流す行為は処罰の対象となります。



大切な施設を長く使用するために

排水管や下水道管を詰まらせてしまうと下水をきちんと処理することができず、修繕が必要となるなど余計な費用がかかってしまいます。大切な施設を長く使用できるようご協力をお願いします。



トイレにトイレペーパー以外のもの(紙おむつやティッシュペーパーなど)は流さないでください。

髪の毛は排水管のつまりの原因となりますので流れ込まないように注意しましょう。



洗剤は水処理が難しく川を汚す原因になりますので、使い過ぎに注意しましょう。

油はつまりや悪臭の原因となります。紙でふき取ったり市販の凝固剤を使って燃えるゴミとしましょう。



道路側溝などに落ち葉やごみを捨てないでください。管が詰まってしまう、道路冠水などの原因となります。



ガソリンや石油など揮発性の高いものは火災や爆発の危険があるので絶対に流さないでください。